



滋賀県のダンボール加工会社の方から子どもたちのためにダンボールハウスが届き、早速組み立てて楽しみました♪

2024.2

「あさがおほっとサロン」始まる

2次避難されて来られたみなさんが、“少しでもほっとできる場所”として集えるよう、2月から毎週土曜日の午後開始しました。

「ほっとサロン」では、各回でホームビジターさんや金城大学短期大学部幼児教育学科の学生さんと一緒に過ごしてくれます。広場ボランティアさん（ママエステの鳥竹さんやフット&ボディの横川さん）が癒しの時間を提供してくださった日もありました。



中学生の集団避難所（白山市2か所訪問）

輪島から集団避難してきている中学生のみなさんに、マテルインターナショナル（株）様から届いたUNOを届けました！



被災地訪問

【9日・七尾市】

まだまだ道路状況も厳しい中、ようやく物資を積んで向かうことができました。いただいたダンボールハウスと必要な物資を届け、一緒に遊びました。子どもたちの笑顔にこちらが元気をもらいました。



11日から金沢市内の妊産婦さんの福祉避難所に「プレイルーム」を毎日開設！

子どもたちは「プレイルーム」が日課♪
ママたちもカフェコーナーで休憩したり、交流を楽しみます。大学生スタッフが学習コーナーを見てくれました。寒さに冷え切った身体に湯たんぽを提供し、温かい部屋着もお渡ししました。
プレイルームとママたちの交流の場を一緒に作る居場所の大切さを感じました。
4月26日には秋篠宮妃紀子さまがご訪問くださいました。子どもたちに絵本の読み聞かせもありました。



【15日・能登町、珠洲市】

受け入れの始まった園や支援センターなどに必要なものを聞き、掃除シートや先生達のエプロン、お昼寝用の毛布、ハンドクリームや子どもたちのおやつなどを積んでいきました。プレハブで合同保育だったり、小学校に間借りしての保育だったり大変な苦勞をされていると先生方からお話を聞きました。
奥能登への「のと里山海道」はまだまだ厳しく、痛みしい状況でした。



【27日・輪島市】

お世話になっている大事な仲間たちのもとへようやく行くことができました。この日の現場のニーズは、子どもの下着や大人の下着、子どもたちのおもちゃやゲーム、おやつ、ママたちの癒しグッズ、文具などでした。ホームビジターさん手作りのスマホショルダーも持っていきました！



金沢市内の2次避難所のホテルでお話会&相談を始める

遊び場運営はカタリバさんが立ち上げ、ママたちの交流や個別相談をあさがおがコラボしました。どんどん変化する情報、制度、なかなか追いついていかない気持ちを聴いて一緒に整理していきました。毎回、必要なものを届けることも続けました。

